



そげっぱ通信

1月

曾慶市民センター
曾慶字神蔭32-1
☎ 0191-75-2244
FAX 0191-71-1019
Email: ynt_sogei
@yahoo.co.jp

●あなたと市民センターをつなぐ情報紙

新年おめでとうございませう

新年のごあいさつ



結いネットそげい
会長 足利 徳 夫

曾慶地区の皆様、明けましておめでと
うございます。令和も5年になりました。
今年は雪も少なく皆様には良い新年を迎
えられたことと思います。しかしながら
コロナの終息とはならず今も猛威をふる
っているような状況です。ワクチンや新
薬のおかげで感染リスク、また重症化は
ある程度防げてはいるものの、まだまだ
予断を許さない状況が続いています。も
うコロナ禍は3年も続いていて、これか
ら『共存』という形で生活していくの
ではないかと思われまます。

世界を見てみるとロシアのウクライナ
侵攻が始まり、未だに続いているとい

コロナ禍の中『心も景色も美しく…』が 少しでも実感できるような地域づくりを

悲しい出来事もあり、私たちが暮らす
日本でも、この平和がいつまでも続く
ことを願うばかりです。
さて、私たちの曾慶を見てみますと、
平成26年に地域協働体「結いネット
そげい」を設立し、地域の課題に取り
組んでいます。少子高齢化はますます
すすみ、設立当初は1200人以上い
た地域の人口も8年後の現在は100
0人程度となりました。
このような状況の中、昨年4月には、
一関市と曾慶市民センター等の指定管
理協定を締結し、結いネットそげいに
よる施設の管理と事業運営に取り組ん
でいるところがございます。少子高齢
化に歯止めをかけることは容易ではあ
りませんが、地域づくり計画に掲げる
曾慶の将来像『心も景色も美しく 住
み続けたい私たちの曾慶』を一人ひと
りが少しでも実感していけるような地
域づくりを地域の皆様と話し合い、行
動していければと思いますので、本年
もよろしくお願いいたします。

令和5年1月吉日

地域の「宝」を大切にし情報発信と 住民目線の事業運営を目指します

地域の皆様、新年おめでとございます。
例年より暖かな新年を迎え、地域の皆様におかれま
してはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
さて、昨年4月に曾慶市民センター等が結いネット
そげいによる指定管理となり、初めての新年を迎えま
した。新しい体制の中で手探りのような状態ではござ
いました。市から委託された施設の適正管理、市民
センター事業の継続と情報発信、並びに地域協働体の
事務局として務めて参りました。

まだまだ至らぬ点もあり、地域課題も山積している
中、新型コロナウイルスへの対応も継続していかなけれ
ばなりません。このような状況ではありますが、職員
一同、かけがえない地域の「宝」を大切にしながら
地域の情報発信と結いネットそげいの役員や地域の皆
様と共に考え、共に行動して住民目線の事業運営と「住
み続けたい曾慶」を目指していきたいと思っております。
本年もご理解とご協力、
ご参加をお願いし、新年
に当たりましてのごあい
さつといたします。

令和5年1月

曾慶市民センター
職員一同



新春「初笑い」講演会

会場が笑いの渦に包まれる

1月20日、「新春初笑い講演会」が曾慶地区センターを会場に開催され、37名の来場者が楽しく夢いっぱい講演を楽しみました。この日の講師は東山町田河津地区の「元祖ほらふき大会」で4度のほらふき大賞に輝いている摺沢の菊池公雄さん。「新薬」をテーマにした講演の中で「現在開発中の新薬を飲むと30歳若返り、70歳の人でも子どもを産むことができる。少子高齢化の切り札だ」と話し、会場は笑いの渦に包まれていました。



「新薬」の公式の解説をする菊池さん

楽しい軽体操とポールウォーキング

楽しく運動不足解消!



1月13日、健康運動指導士の佐藤恵先生を講師に『楽しい軽体操&ポールを使ったウォーキング教室』を行いました。「ポールはウォーキングの時だけではなく、ストレッチや筋トレにも活用できる」と、恵先生に教えていただき実際に皆さんで実践してみました。1時間ちょっとの軽体操でしたが、体はポカポカ。普段の運動不足で固まっていた体がストレッチのおかげですっきりしたのが実感出来ました。参加した60代の女性は「高齢者にも優しい指導で、楽しくウォーキングができました」と話していました。

亡き母の絵手紙を本に

昨年5月に永眠された故佐藤精子さん(鶴巻)が生前に友人の菅原紀子さん(袖振)に宛てた膨大な数の絵手紙が子供さんたちの手により本にされ、近親者や市民センターに配られました。

「花だより～せいこさんからの絵手紙～」と題された本は168ページ、300枚を超える作品がカラーで掲載され、温かな絵とともにその時の心情が短い言葉で綴られています。娘の小野寺幸枝さんは「母のことを忘れずに語り伝えてほしいという願いを込めて、この本をお届けします」と書き添えていました。ご覧になりたい方は曾慶市民センターまでおいでください。



曾慶地区どんと祭

御神火焚き無病息災祈る

曾慶地区どんと祭が小正月の1月15日、曾慶地区センター駐車場で行われました。この日は地区内外からしめ縄や門松、お札等を持った人が次々と会場を訪れました。

開会行事の中で実行委員長の岩淵俊美さんが「昨年は疫病や戦争等で悪いことが多い年だったと思うが、今年は健康で平和な年になるよう祈りましょう」とあいさつ。その後には神事が行われ、参列者が見守る中御神火を焚いて、無病息災や家内安全を祈願しました。



お祓いを受ける参列者や消防団の皆さん

本年もどうぞよろしくお願ひします!!

今年も新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、曾慶地区新年交賀会は中止となりました。そこで、曾慶の企業様にご協力いただき、コメントをいただきましたのでご紹介させていただきます。(順不同で掲載しています)

伊東運送 株式会社

代表取締役社長 伊東 浩

(住所：曾慶字神蔭25-3 / TEL：72-3724)

【コメント】

中型トラックを主体に平ボディ車、トラッククレーン関係で全国長距離輸送・中距離輸送を承っており、法人個人を問わず当日輸送依頼にも対応できるよう幅広いネットワーク業者で協力輸送を行っています。

佐藤工夢店 株式会社

代表取締役 佐藤 誠

(住所：曾慶字砂子田14-2 / TEL：75-4414)

【コメント】

おかげ様で地域の皆様と共に105年。快適な「素足の暮らし」と「古民家リノベーション」で四代目佐藤工夢店も頑張っています。

株式会社 シンコーロードサービス

代表取締役 佐藤 清喜

(住所：曾慶字岩間33 / TEL：72-2598)

【コメント】

「すべては安全のために！」

人と車の交通資材の総合商社

本年も社員一丸となってがんばります。

山寺建築

佐藤 正男

(住所：曾慶字佐ノ平85 / TEL：72-3594)

【コメント】

一般建築・新築・リフォーム 社寺建築の設計・施工小規模土木工事から福祉住環境コーディネーター取得による福祉住宅の設計・施工まで お客様のあらゆるニーズに答える、それが「山寺建築」です。

足利理容所

足利 美幸

(住所：曾慶字田中 9-1 / TEL：75-4455)

【コメント】

いつもご利用ありがとうございます。

お電話いただければ送迎もいたします。

今年も皆様のお越しを心よりお待ちしております。

ヘアーサロン佐藤

佐藤 貞子

(住所：曾慶字神蔭 29-1 / TEL：75-3553)

【コメント】

地域の皆様へ感謝いっぱい！

今まで同様に宜しく申し上げます。

お知らせ

4月から渋民出張所の開所日が

月・木 曜日の週2日になります

◎ 営業時間は9時～16時まで

(11時30分～12時30分は休業になります)

取り扱い業務の範囲はこれまでと同じ内容です。

※ 詳しくは、全戸配布のチラシをご覧ください

株式会社 足利工業

代表取締役社長 足利 哲也

(住所：曾慶字留館31-2 / TEL：72-3341)

【コメント】

Under your LIFE

Under your DREAM

土木・基礎工事を通じて、

あなたの暮らしを足元から支えます

そげいびと

⑨ 小山 健さん(34) ~曾慶字五百水~

トマトづくりと子育て 釣りに全力投球



今回は新年早々でしたが、昨年第3子が生まれたばかりの小山健さんのお宅にお邪魔してきました。健さんは高校を卒業し平泉にある自動車関連の企業に就職していましたが、名古屋の本社への移籍が決まりつつあったところ、東日本大震災の影響で移籍が流れてしまい、会社も休みに。実家で父親がやっているトマト栽培を手伝っていました。ところが、2014年の結婚を機に独立しトマト農家でやっていく決心をしたそうです。

現在は摺沢に14aのハウスを持ち、生産をしています。トマトづくりは大変では？と聞くと「大変だとは思っていない」ときっぱり。子供の頃から父親の仕事を手伝っていたために自然と仕事についているようです。

「トマト作りは自分の時間を自由にできるのがいい」と話す健さん、最盛期には多忙を極めますが、夜まで収穫して、そのまま海へ夜釣りに行き朝帰り、ほとんど寝ないままハウスで仕事をすることも。「身を削って釣りをしている」と苦笑い。仕事も釣りも全力で立ち向かう、これが健さんのライフ・ワークバランスのようです。トマトづくりを志す研修生の受け入れにも積極的に、お邪魔した際にも市内の研修生が指導を受けにきていました。また、トマト仲間、釣り仲間等も忙しい時期には駆けつけて手伝ってくれるそうで、豊かな人間関係を築いていることがうかがえます。

息をするように仕事したい

物価高騰の波は農家に重くのしかかってくるっており、肥料やビニールなどの生産資材の高騰がなかなか販売価格に転嫁できないのが悩みのようです。今後の目標や抱負を聞くと「息をするように仕事をして、無理はしない。ストレスになることはしないことかな」と淡々と話してくれました。そんな健さんに対し妻の麻希さんは「健康第一で仲良くやっていければいい」とのこと。一昨年新築したお家で妻と7歳、3歳、0歳の元気な3人の子どもたちにも囲まれ、仕事もプライベートもますます充実している健さんは若い農業者の憧れの存在になりそうです。

曾慶の人口と世帯数

令和5年1月1日現在

行政区	世帯数	男	女	合計
1区	27	37	27	64
2区	69	98	95	193
3区	54	68	80	148
4区	50	67	79	146
5区	63	79	73	152
6区	41	66	60	126
7区	28	44	42	86
13区	33	49	44	93
こはぎ荘	49	20	29	49
合計	414	528	529	1057
前月比	0	△1	△4	△5



曾慶百景
羽黒神社はぐろいんじや

砂子田にある「羽黒神社」は大同2年(807)坂上田村麻呂による曾皆征伐の際に勧請されたと云われています。これは熊野神社が熊ノ平から西の沢に遷された時期と同じですが、大正初期に現在の茨城県日立市にある蚕養(こがい)神社から蚕養の神様を分霊しここに祀りました。春の掃き立ての時期になると、遠くからも養蚕家の参拝者が多く訪れたそうですが、養蚕の衰退と共に今は途絶えています。羽黒神社は曾慶川が蛇行している場所(鶴巻)から入って行くと、大迎山に室根山を臨んで静かに佇んでいます。